



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 油研工業株式会社
 コード番号 6393 URL <https://www.yuken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 永久 秀治
 (氏名) 萩野 嘉夫
 TEL 0467-77-2111

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	20,490	26.9	1,168	285.5	1,277	184.2	780	117.2
2021年3月期第3四半期	16,149	16.9	303	61.1	449	28.7	359	8.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,597百万円 (370.4%) 2021年3月期第3四半期 339百万円 (73.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	190.18	
2021年3月期第3四半期	87.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	39,346	20,155	46.9
2021年3月期	36,065	18,902	48.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 18,440百万円 2021年3月期 17,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		80.00	80.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	25.5	1,550	151.4	1,550	73.4	930	42.8	226.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、【添付資料】8ページ(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無
詳細は、【添付資料】8ページ(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	4,510,676 株	2021年3月期	4,510,676 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	408,408 株	2021年3月期	407,965 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	4,102,526 株	2021年3月期3Q	4,102,936 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	P. 5
四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
(収益認識関係)	P. 9
3. 補足情報	P. 10
海外売上高	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が実施され、経済活動が制限される期間が生じたものの、ワクチン接種や、感染対策・感染対応の進展等により、持ち直しの動きが見られました。世界経済におきましては、米国、中国等では経済活動の回復を加速させており、先進国を中心に緩やかな回復が続きました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の実績といたしましては、売上高は204億9千万円（前年同四半期比26.9%増）、営業利益は11億6千8百万円（前年同四半期比285.5%増）、経常利益は12億7千7百万円（前年同四半期比184.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億8千万円（前年同四半期比117.2%増）となりました。

当社グループでは、中長期の持続的な成長を目指す取組みとして、3ヵ年計画の中期経営計画「3G Action2021～Challenge the Next Stage～」を2019年度からスタートさせ、この期間を次の10年に向けた更なる飛躍のための成長フェーズとして位置づけ、海外展開の着実な推進とグループ総合力を活かした生産力の強化に取り組んでおります。具体的には、①今後、旺盛な油圧需要の捕捉が期待できるインド、北米、東南アジア地域での拡販体制の確立と戦略製品の開発、②日本およびインド、台湾、中国の海外生産拠点の連携強化によるグローバルな最適生産体制の構築などを通じて、当社グループとしての競争力を一層強化し、環境変化の中でも利益成長できる油圧総合メーカーグループを目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から32億8千1百万円増加し、393億4千6百万円となりました。増加の主なもの、流動資産では、受取手形及び売掛金の増加13億8千9百万円、棚卸資産の増加14億4百万円等、固定資産では、有形固定資産の増加2億7千8百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて20億2千7百万円増加し、191億9千1百万円となりました。主な増減は、流動負債では、支払手形及び買掛金の増加13億9千6百万円、短期借入金の増加6億6千9百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加8億4千1百万円、賞与引当金の減少1億4千2百万円等、固定負債では、長期借入金の減少13億4千7百万円等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて12億5千3百万円増加し、201億5千5百万円となりました。増加の主なもの、利益剰余金の増加4億5千1百万円、為替換算調整勘定の増加5億5千4百万円等であります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント減少し、46.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローにより減少したものの、営業活動によるキャッシュ・フローにより増加したため、52億5千7百万円（前連結会計年度末比0.7%増）となりました。営業活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なもの、税金等調整前四半期純利益12億9千2百万円、売上債権の増加9億9千6百万円、棚卸資産の増加11億9千1百万円、仕入債務の増加11億3千7百万円等であります。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは4億8千7百万円の収入となり、前年同四半期に比べ10億1百万円収入が減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なもの、有形固定資産の取得による支出7億3千万円、有形固定資産の売却による収入3億8千5百万円等であります。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは2億7千8百万円の支出となり、前年同四半期に比べ6億2千2百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なもの、短期借入金の純増額6億3千4百万円、長期借入れによる収入2億9千万円、長期借入金の返済による支出8億1百万円、配当金の支払いによる支出3億2千8百万円等あります。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは2億7千5百万円の支出となり、前年同四半期に比べ2億6千万円支出が増加しております。

当社は、取引銀行4行とシンジケーション方式のコミットメントライン契約を締結しており、コミットメントの総額は40億円、当第3四半期連結会計期間末のコミットメントラインの借入残高は13億円となっており、借入未実行残高は27億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、2021年11月8日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。また、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,362,351	5,398,257
受取手形及び売掛金	9,645,781	11,035,427
商品及び製品	2,847,695	3,502,106
仕掛品	1,053,678	1,110,764
原材料及び貯蔵品	2,692,800	3,386,079
その他	1,237,675	1,478,858
貸倒引当金	△68,196	△64,765
流動資産合計	22,771,787	25,846,728
固定資産		
有形固定資産	7,628,230	7,906,935
無形固定資産	309,013	257,275
投資その他の資産		
投資有価証券	3,061,417	3,006,707
その他	2,300,358	2,334,179
貸倒引当金	△5,330	△5,330
投資その他の資産合計	5,356,445	5,335,557
固定資産合計	13,293,689	13,499,768
資産合計	36,065,476	39,346,497
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,295,475	5,692,101
短期借入金	1,989,526	2,659,454
1年内返済予定の長期借入金	1,013,863	1,855,530
未払法人税等	177,444	336,289
賞与引当金	334,338	191,467
その他	2,334,821	2,796,395
流動負債合計	10,145,469	13,531,239
固定負債		
長期借入金	2,966,740	1,618,867
退職給付に係る負債	3,946,008	3,945,914
資産除去債務	4,596	4,626
その他	100,428	90,507
固定負債合計	7,017,773	5,659,915
負債合計	17,163,242	19,191,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,101	4,109,101
資本剰余金	3,881,105	3,911,300
利益剰余金	10,176,741	10,628,741
自己株式	△1,039,011	△1,039,774
株主資本合計	17,127,937	17,609,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	680,813	711,619
為替換算調整勘定	△225,651	328,829
退職給付に係る調整累計額	△248,592	△209,801
その他の包括利益累計額合計	206,568	830,648
非支配株主持分	1,567,727	1,715,325
純資産合計	18,902,233	20,155,343
負債純資産合計	36,065,476	39,346,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	16,149,558	20,490,736
売上原価	12,338,263	15,315,598
売上総利益	3,811,294	5,175,137
販売費及び一般管理費	3,508,129	4,006,460
営業利益	303,165	1,168,677
営業外収益		
受取利息	24,938	30,076
受取配当金	42,042	46,110
持分法による投資利益	12,612	16,565
為替差益	-	28,360
補助金収入	41,469	10,543
雇用調整助成金	170,512	31,351
その他	73,020	86,540
営業外収益合計	364,596	249,547
営業外費用		
支払利息	136,170	110,539
為替差損	55,405	-
その他	26,736	30,574
営業外費用合計	218,312	141,113
経常利益	449,449	1,277,111
特別利益		
固定資産売却益	1,056	1,601
ゴルフ会員権売却益	-	13,984
特別利益合計	1,056	15,586
税金等調整前四半期純利益	450,506	1,292,697
法人税等	106,550	385,187
四半期純利益	343,955	907,510
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,303	127,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	359,259	780,216

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	343,955	907,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136,874	30,806
為替換算調整勘定	△180,545	620,759
退職給付に係る調整額	39,426	38,791
その他の包括利益合計	△4,243	690,357
四半期包括利益	339,711	1,597,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,997	1,404,295
非支配株主に係る四半期包括利益	△36,285	193,572

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	450,506	1,292,697
減価償却費	776,833	801,835
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,544	△5,091
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	86,401	54,873
受取利息及び受取配当金	△66,981	△76,186
支払利息	136,170	110,539
為替差損益 (△は益)	△2,690	△13,343
売上債権の増減額 (△は増加)	1,320,842	△996,757
棚卸資産の増減額 (△は増加)	35,698	△1,191,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	△614,658	1,137,381
その他	△452,138	△280,523
小計	1,665,439	833,725
利息及び配当金の受取額	75,355	81,599
利息の支払額	△137,463	△110,800
法人税等の支払額	△114,282	△316,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,489,047	487,592
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△140,842	△140,842
定期預金の払戻による収入	140,842	140,842
有形固定資産の取得による支出	△815,796	△730,314
有形固定資産の売却による収入	2,323	385,010
投資有価証券の取得による支出	△99,742	△1,132
投資有価証券の売却による収入	100,000	101,000
貸付けによる支出	△15,470	△29,944
貸付金の回収による収入	12,817	17,637
その他	△85,301	△21,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901,170	△278,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△152,647	634,203
長期借入れによる収入	1,400,000	290,305
長期借入金の返済による支出	△850,656	△801,028
自己株式の取得による支出	△586	△770
配当金の支払額	△326,594	△328,686
非支配株主への配当金の支払額	△30,970	△15,875
その他	△54,165	△54,117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,620	△275,969
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100,299	103,275
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	471,957	35,905
現金及び現金同等物の期首残高	3,982,792	5,221,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,454,749	5,257,414

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、有償支給取引において、従来は有償支給した原材料等については棚卸資産の消滅を認識しておりましたが、当該取引において買い戻す義務を負っていることから、有償支給した原材料等について棚卸資産の消滅を認識しないことといたしました。なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の販売において、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期連結会計期間の原材料及び貯蔵品が51,965千円増加し、流動資産のその他が同額減少しております。当第3四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に変更はありません。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染拡大の影響については、今後の広がり方や収束時期等の見通しを行うことは困難ですが、当社グループでは、感染防止対策を行いつつ、ほぼ通常稼働しており、事業活動への影響は限定的であり、当社グループの事業に著しい影響を与えるものではないと仮定しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,917,045	8,031,062	201,449	16,149,558	—	16,149,558
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,944,482	538,964	—	2,483,446	△2,483,446	—
計	9,861,527	8,570,026	201,449	18,633,004	△2,483,446	16,149,558
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△117,009	254,401	1,891	139,283	163,881	303,165

(注) 1 調整額の主なものは、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	9,074,758	11,064,201	351,776	20,490,736	—	20,490,736
外部顧客への売上高	9,074,758	11,064,201	351,776	20,490,736	—	20,490,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,496,651	890,543	—	3,387,194	△3,387,194	—
計	11,571,410	11,954,744	351,776	23,877,931	△3,387,194	20,490,736
セグメント利益	221,348	922,402	10,788	1,154,539	14,138	1,168,677

(注) 1 調整額の主なものは、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等)に記載のとおりであります。

3. 補足情報

海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	8,357,527	196,653	248,414	100,027	8,902,622
II 連結売上高(千円)	16,149,558				
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	51.8	1.2	1.5	0.6	55.1

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国、タイ

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	12,602,369	225,219	378,036	112,552	13,318,178
II 連結売上高(千円)	20,490,736				
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	61.5	1.1	1.8	0.5	65.0

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国、タイ

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス